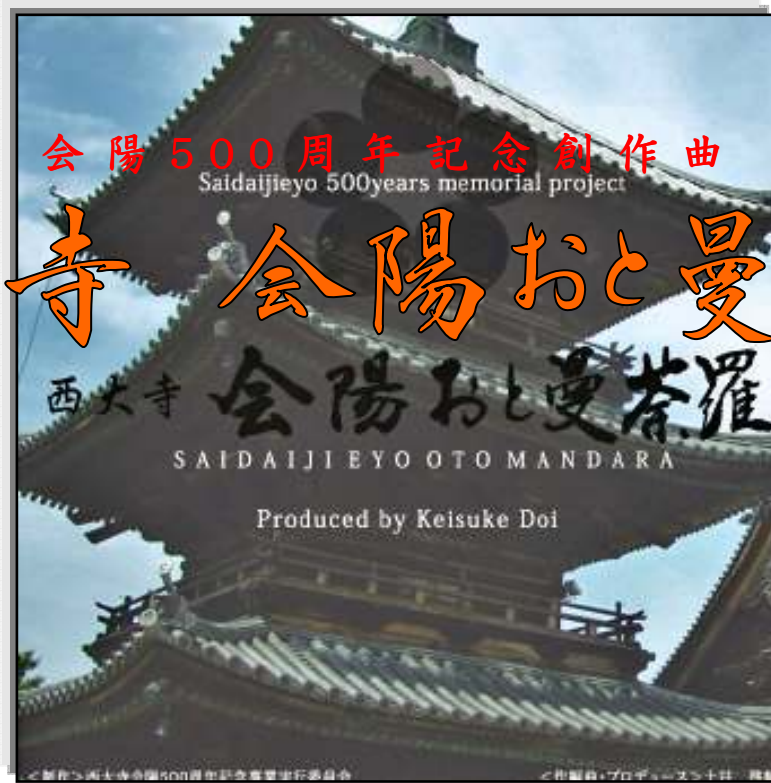


# 会陽500周年記念創作曲

Saidaijieyo 500years memorial project

# 西大寺 会陽おと曼陀羅



「声明とは」  
法要で唱えられる際の付いたお経の事で、これを一般に声明(しょうみやう)と言う。この声明の双壁は天台宗系の天台声明と仏にも真言宗系の前山進流(なんざんしんりゅう)の声明がありそれぞれの節の特徴から天台声明を聞いてみると同眼が付きそうなので「眼り節」真言宗系の前山進流は何が怒っているように聞こえるので「怒り節」とも言われている

2 『四智梵語(しちぼんご)』  
【仏の妙智(すばらしい)智恵の力を称えている経】  
オンパンガラ サトバソギヤカラ バンザラタンノウ マドタラン バンザラタラマ キャヤタイ バンザラキヤラマ キャロハンバ  
訳: 余願摩羅(衆教付法の第二期)に 護られて 尽きぬ 命の ひとしほ 実りの叫び 清らかに 教いの道ぞ 取りなし

3 『仏讚(ぶつさん)』  
【仏の徳を称えている経】  
マカギヨロニテ ケンオクタン シヤシヤタラン サラハバイン  
マカシヨチチナタタジ ハツバマミタタキヤン  
訳: 甚深く 世を救う 全てを過ぎ舞う 導師 福と徳とを備えたる 如來(大日如來)を我は 頂礼す

会陽法句(えようじんく) 作詞: 土井啓輔

(一番)	(二番)	(三番)
サーエ 天下白雲 願言さまが 願正の出 誓の願いが	サーエ 西大寺には おわします 願られるに こめられる	サーエ 今日は念の 縁のみまの おとごより おんな太鼓に まけておられぬ 会陽の口

【節句】  
マツリの後も 祈りを捧げ  
明日は会陽の 春がくる

【曲目】

- 1 冬来
- 2 真言声明
- 3 声明 四智梵語
- 4 声明 聖心発願
- 5 声明 称名礼
- 6 声明 仏讚
- 7 会陽法句
- 8 太鼓組曲「会陽唱歌」
- 9 第一章「慈音」
- 10 第二章「数算」
- 11 第三章「唱願」
- 12 朗誦 み仏の
- 13 宝木
- 14 春陽

＜演奏＞  
尺八・笛: 土井啓輔  
声明: 坪井綾広 正影光悠 國本秀範  
琴: 廣本秀輝 内井慈章  
唄: 石川喜代美  
津軽三味線: 廣原武美  
朗誦(作詞): 土井白鳳

当年所作(とうねんそく) 五穀成(ごこくじょう) 産養如意(さんようい) 無辺大願(むへんだいがん) 決定円進(けつじょうえんじん) 衆生無辺(じゅうじょうむへん) 福智無辺(ふくちむへん)

神太郎 枝ノ三ツニ開タルハ 昔光園ノ林トコ申スベカリケレ 修正ヲ勤メ御座 請徳大法主 眞堂ノ諸人モ 栄花ヲ開テ 寿福ノ御戸 有給ヘコソ有ケレ

訳: 会陽当日より2週間前から毎日勤められる「修正会(しゅうしやうえい)」の中で唱える特別なお経で、五穀豊穡、国家安穩、天下泰平など様々な願いをこ本尊に祈り、その願いはこの修正会で得た大きな徳によって宝木の栄花を開かせ、寿福が普く光となって平等に満ちあふれていく様を唱えている

購入ご希望の方は西大寺観音院(086-942-2058)またはお問合せフォームよりお尋ね下さい。 ※ 1枚3,000円(本堂お守り授与所)

1. 冬来 TOURAI -コトノハジマリ- KOTONO HAJIMARI-
2. 声明 SYOUMYOU 四智梵語 SHICHIBONGO -シチボンゴ-
3. 声明 SYOUMYOU 至心発願 SHISHINHOTSUGAN-シシンホツガン-
4. 声明 SYOUMYOU 称名礼 SYOUMYOURAI ショウミョウライ-
5. 声明 SYOUMYOU 仏讃 BUSSAN-ブツサン
6. 会陽甚句 EYOUJINKU -エヨウジンク-
7. 太鼓組曲 TAIKO SUITE 会陽鳴動 EYOUMEIDOU 第一楽章 The first movement 慈音 JION -ジオン-
8. 第二楽章 The second movement 散華 SANGE -サンゲ-
9. 第三楽章 The third movement 鳴動 MEIDOU -メイドウ-
10. 朗詠 ROUEI み仏の MIHOTOKENO-ミホトケノ-
11. 宝木 SHINGI -シンギ-
12. 春陽 SYUNYOU ハルノキザシ HARUNO KIZASHI-

## 内容紹介

CD「会陽(えよう)おと曼荼羅(まんだら)」は、西大寺会陽が今年 500 周年を迎えたのを記念し制作された長編組曲である。会陽(えよう)に向けた一連の儀式から裸衆が宝木を奪い合う本番、春の到来までを 12 曲にまとめた。2010 年 11 月 3 日に発売。当日西大寺観音院で行われた牛玉所殿(ごおうしょでん)の落慶法要で一部が披露された。組曲は、会陽が末永く続くようにとの願いを込めて制作。岡山市出身の尺八演奏家で作曲家の土井啓輔さんに作曲・作詞・編曲を依頼した。笛や三味線、シンセサイザーなどさまざまな楽器と音を使って約 45 分で構成している。寺の鐘の音が静かな「冬来」で始まり、僧侶が厳かに読み上げるお経と音楽を組み合わせた「声明(しょうみょう)」、宝木投下を待つ緊張感を表現した「会陽甚句(えようじんく)」と続き、太鼓組曲「会陽鳴動(えようめいどう)」で宝木投下前の熱を伝えている。宝木(しんぎ)争奪戦を表した「宝木(しんぎ)」は「わっしょいわっしょい」というかけ声で始まり、オーケストラ演奏で本番の盛り上がり伝える。最後の「春陽」では会陽とともに到来する備前平野の春を表現した。